

研究機関名：東北大学

1.受付番号	2021-013
2.研究課題名	マスクの着け心地における香りの効果に関する研究
3.研究期間	令和 3 年 12 月（倫理委員会承認後）～ 令和 5 年 3 月 31 日
4.研究の概要	意義・目的 新型コロナウイルス感染症の流行により、人々の生活様式は様々に変化した。その中でも、外出する際に必ず着用しなければならないマスクは、息苦しさや暑さといった煩わしさを感じさせ、人々が日常的に受けるストレスの原因となっている。現在では、様々な素材で作成されたマスクが販売されており、マスクの素材を変えることによってこれらのストレスを解消することができる。しかし、素材によっては感染予防対策として効果が下がるものもある。従って、感染予防効果を損なわない形で煩わしさを解消する方法を検討する必要があると考えられる。 そこで本研究では、マスクに香りという要素を加えることによって、マスクから喚起される煩わしさを低減することができるかどうかを検討することとする。またその際、香りのどのような特徴が影響を与えるのかについても検討する。これにより、マスクの感染予防効果を損なうことなくストレスを解消する方法の一つとして、香りが有効であることを明らかにすることができると共に、他の感覚の知覚や商品の使用感に与える香りの効果の特徴を明らかにすることができると考える。 方法 東北大学の大学生および大学院生の日本人女性計 30 名を予定。実験の案内は実施担当者の口頭による告知及び実験内容を記載した広告を用いて行う。また、実験者および対象者に対して入念な感染症対策を行う。 実験は 2 日に分けて実施され、いずれにおいても実験対象者は実際にマスクを着用し、その着け心地についての評価を行う。実験で得られた情報は全て匿名化され、個人が特定されない形で保存される。実験参加にあたり、2 日程で 2000 円の図書カードを謝礼として支払う。 問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学川内南地区「人を対象とした医学系研究」倫理審査委員会事務局（022-795-6103） 文学研究科心理学的研究室（022-795-6048）